

令和7年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特4	学校名	県立 常陸太田特別支援学校										学校長名	稲田 勝江								
教頭名	平 知己					教頭名	加藤 博美					事務(室)長名	黒沢 公一朗									
教職員数	教諭	9	1	養護教諭	2	常勤講師	1	0	非常勤講師	6	実習助手	2	寄宿舎指導員	0	事務職員	3	技術職員等	9	計	1	2	7
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
	幼稚部																					
	小学部	8	4	12	3	8	5	10	4	4	1	13	4	55	21	18						
	中学部	27	6	20	3	13	3							60	12	18						
	高等部	16	8	13	10	16	5							45	23	13						
	専攻科																					
														小計	160	56	49					
														合計	216							

2 目指す学校像

- ◆安心して過ごせるあたたかく笑顔あふれる学校
- ◆一人一人の学びを大切にする学校
- ◆家庭や地域とともに歩む学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・各種避難訓練実施後の反省を踏まえて危機管理マニュアルの見直しや児童生徒一人一人に寄り添った支援体制を整備するなど、安全・安心な教育環境づくりに努めている。 ・OTA ぶどうプロジェクトや小学部からの仕事の体験、外部講師を活用するなどして、地域と連携を図りながら教育活動の充実に努めている。 ・行事の見直しや classroom の活用による会議時間の短縮、教材データの共有など、授業準備時間の確保に向けた働き方改革を進めている。 ・定期的なコンプライアンス研修の実施のほか、鍵の管理の仕方の改善を図り個人情報漏えい防止に努めるなど、不祥事根絶を目指した取組みを進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な安全点検や整理整頓を重視した環境整備の徹底と教職員一人一人の危機管理意識の更なる向上 ・コミュニティ・スクールを活用した教育活動の更なる充実 ・勤務時間を意識した働き方の推進 ・より当事者意識を醸成するコンプライアンス研修の内容の充実と風通しの良い職場環境作りの推進
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領と児童生徒の実態を踏まえながら、各教科等の年間指導計画の見直し・改善を進めている。 ・研究テーマ「個に応じた各教科の指導の充実～自立活動の指導と関連を図った各教科の指導の充実～」の成果として整理された「子供が主体的に学ぶための工夫」の視点を踏まえ、よりよい授業づくりを進めていく必要がある。 ・調べ学習のほかアプリを活用して意見を共有するなど、児童生徒の実態に応じて ICT を活用した学習環境の整備に努めている。 ・自立活動教員による児童生徒の実態把握や指導方法等の助言、子供の見方を深めるための研修会等を実施し、自立活動の指導の充実に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の充実による授業づくり及び授業改善の推進 ・教科の「見方・考え方」を踏まえた単元計画と授業デザイン ・ICT を効果的に活用した学習指導の充実 ・児童生徒一人一人の各教科における学習上の困難さの把握を踏まえた自立活動の指導の充実

4 中期的目標

- 1 児童生徒の安全を確保し、安心して学べる教育環境を推進する。
- 2 一人一人の障害の状態に応じた指導をとおして、確かな学力と考える力の育成を図る。
- 3 地域資源を活用し、地域の特色を活かしたキャリア教育を推進する。
- 4 地域の関係機関との連携・協働体制を構築し、地域の特別支援教育の充実に寄与する。
- 5 教職員のより一層の専門性向上を図ると共に、働きやすい職場環境を推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 安全・安心な教育環境づくり	① 学校事故等の未然防止と危機管理体制の強化(整理整頓、安全点検の徹底、ヒヤリハットの共有、各種マニュアルの改善等) ② 家庭や地域と連携した安全管理 ③ 健康教育と道徳教育の充実 ④ 校内の相談・支援体制の強化(早期発見・早期対応、関係機関との連携)
2 一人一人の学びの充実	⑤ 考える力を育み、「わかった、できた、もっとやってみたい」を引き出す授業づくり ⑥ 単元計画を踏まえた授業デザイン ⑦ ICT を効果的に活用した学習指導及び支援の充実 ⑧ 教科の学びを支える自立活動の指導の充実
3 キャリア教育の推進	⑨ 家庭や地域と連携した小学部からの系統的なキャリア教育の推進(OTA キャリア教育プラン) ⑩ 地域資源を活用した教育活動の充実(OTA ぶどうプロジェクト、社会人講師の活用) ⑪ あいさつの習慣化 ⑫ コミュニティ・スクールを生かした開かれた学校づくりの推進
4 地域の特別支援教育の推進	⑬ 心のバリアフリーを目指す交流及び共同学習の内容の充実 ⑭ 多様なニーズに応じた助言・援助の強化 ⑮ 関係機関や専門家と連携を図った支援の充実 ⑯ 積極的な情報発信(保護者、地域、学校等)
5 高い専門性と働きやすさ	⑰ 特別支援学校教員としての専門性を高める研修の充実と学びの共有(自立活動、授業改善等) ⑱ チームで支える教育体制の整備(ティーム・ティーチング、情報共有) ⑲ 風通しの良い職場づくり(報告・連絡・相談の徹底) ⑳ ICT 等を活用した業務改善とタイムマネジメントの推進